

KAGAYA



豊富な天文知識と卓越したアートセンスで、宇宙と神話の世界を描くアーティスト。絵画制作をコンピューター上で行う「デジタルペインティング」の世界的先駆者。「12星座シリーズ」は世界的に商品化された。一方で星景写真家としても人気を博し、写真集「星月夜への招待」「天空讃歌」「悠久の宙」を刊行。Twitterのフォロワーは約80万人。天文普及とアーティストとしての功績をたたえられ、小惑星11949番はKagayayutakaと命名されている。



「シンフォメトリー」

高部 哲也

イラストレーター/映像ディレクター。多摩美術大学油画科卒業後、プラネタリウム番組制作会社に入社。宇宙に関連するイラストやギリシャ神話を描く。エアブラシによる手描きのリアルイラストを得意としている。現在でも手描きのイラストにこだわり、制作を続けている。近年は、鉛筆画をデジタルで着色する手法で、デジタルと手描きを融合する独自の表現を追求している。ディレクターとして、プラネタリウムの番組制作、映像制作、新聞、雑誌の連載などで活動。2008年、デザイン工房 哲也 設立。フリーとして活動の場を広げ、国立天文台や全国の科学館や博物館、教育誌などにイラストを提供している。また、天文グッズ、ポスター、パッケージ、ロゴのデザインなども手がけている。



「宇宙創世」

藤井 龍二



岐阜県出身。日本漫画家協会会員。キャラクターアート会員。北沢楽天頭彰会理事。「月刊星ナビ」4コマまんが「やみくも天文同好会」連載中。他にもビジネス誌や毎日新聞。教育関係本などに連載。趣味の天文で企画旅行ツアーも手がけ、日食ツアーには32回も遠征。モンゴルには星と馬を楽しむために10回以上出かけている。主な著書「ロングセラー商品誕生物語シリーズ」「星座物語」「まんがで読む星のギリシア神話」「星の王子さま」ほか多数。



「ハデス」



「やみくも天文同好会」



石川雅之 「惑わない星」原画数点

大阪府出身。1997年に「日本政府直轄機動戦隊コムインV」でデビュー、初連載。1999年、「神の棲む山」(人斬り龍馬)所収)でちばてつや賞準入選受賞。「モーニング」連載の「週刊石川雅之」などを経て、2004年「もやしもん」を連載開始(2014年完結)。同作で第12回手塚治虫文化賞マンガ大賞、第32回講談社漫画賞受賞。2009年より「純潔のマリア」を連載開始(2015年完結)。2015年5月に「惑わない星」連載開始。



星野香菜彦 「アキレウスの盾」

長崎県出身。長崎大学教育学部美術課程卒業。古代ギリシャの世界に魅了され、ギリシャ神話・トロイア戦争の漫画やグッズデザインなどの創作活動を行う。「古代ギリシャナイト」で、主催補佐兼アートディレクターを務める。

特別展 宇宙のイラスト展

2020年
10月10日(土)~12月6日(日)

会場：明石市立天文科学館・3F 特別展示室

明石市立天文科学館

〒673-0877 明石市人丸町2-6 TEL: 078-919-5000
FAX: 078-919-6000 <https://www.am12.jp/>



【開館時間】9時30分~17時
(最終入館は16時30分)

【休館日】月曜日・第2火曜日
(祝日・休日と重なる日は開館し、翌日が休館)、
年末年始

【観覧料】大人700円(高校生以下無料)

【駐車場】2時間まで200円
(以降1時間ごとに100円)

●人丸前駅(山陽電車)から北へ徒歩3分
●明石駅(山陽電車・JR)から東へ徒歩15分